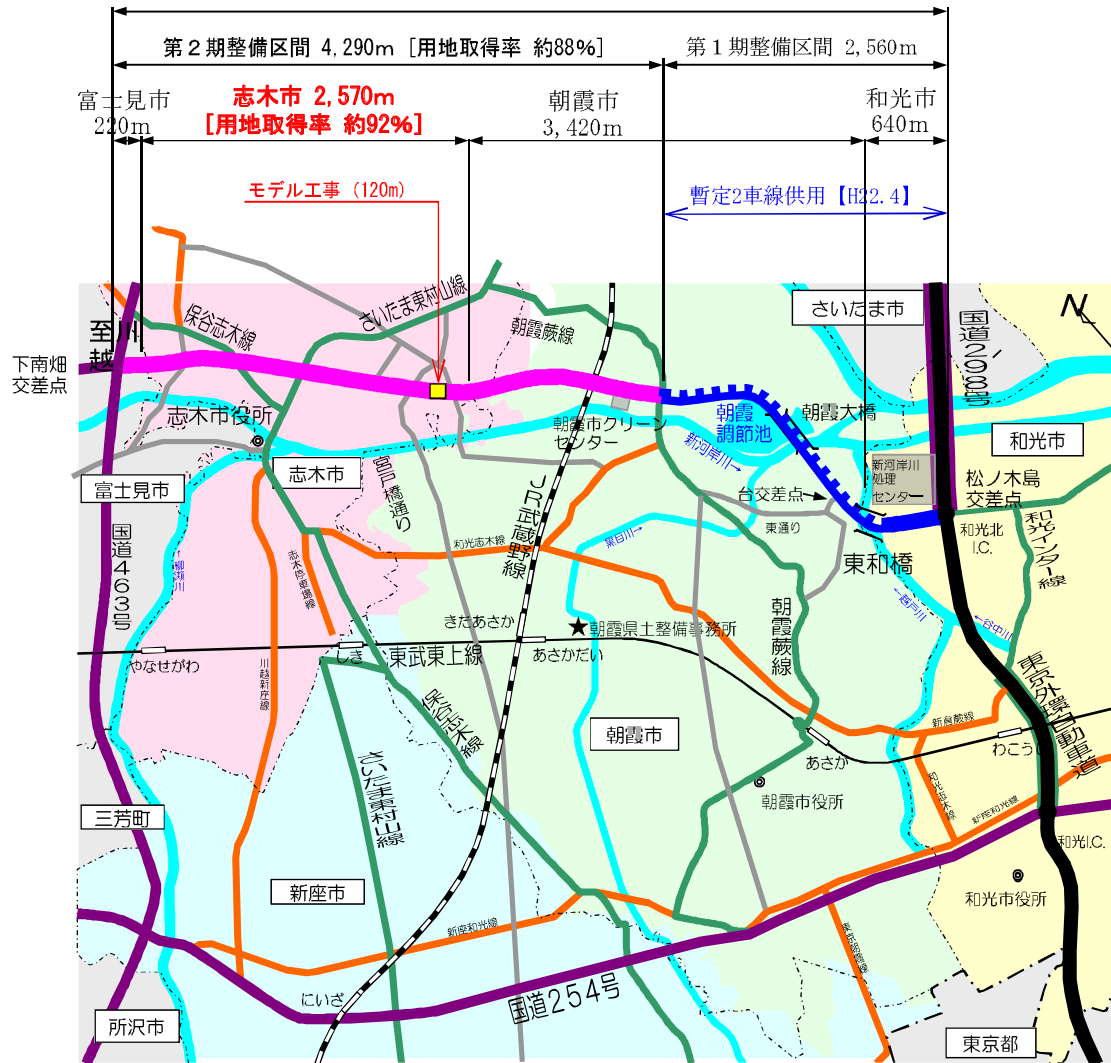


道路設計(案)の概要について

1. 事業概要と国道254号バイパス道路詳細設計検討会の設置

全線 L=6,850m [用地取得率 約92%]



1 位置付け

- ・国道254号現道の混雑を緩和
- ・県南西部の幹線道路網の強化
- ・外環和光北ICへのアクセス向上



2 計画概要

- 位置：東京外郭環状道路～国道463号
- 延長：6,850m 【志木区間 2,570m】
- 幅員：42m～36m 【志木区間 42m】
- 車線数：平面4車線（片側2車線）
- 構造物：朝霞大橋、国道463号立体交差橋

3 経緯

- 昭和51～55年：都市計画決定（高架4車線+平面4車線を想定）
- 昭和59年度：事業着手
- 平成6年度：第1期整備区間（起点～朝霞蕨線）を定め、重点整備
- 平成19年度：基本構造を「平面4車線」に決定
- 平成20年度：環境緩衝帯整備検討協議会【志木区間】
（基本的な整備モデル案を作成）
- 平成22年度：第1期整備区間を暫定2車線供用
- 平成24年度：第1期整備区間起点部を4車線化
- 平成25年度：モデル工事【志木区間】が完成
- 平成26年度：朝霞大橋2期線上部工完成
- 平成28年度：東和橋2期線完成
都市計画変更（平面4車線）
第2期整備区間の工事に本格着手（下南畑交差点）
道路詳細設計検討会【志木区間】
- 平成29年度：道路詳細設計検討会【志木区間】
第2期整備区間の継続工事（下南畑交差点）

4 進捗状況(H29.3末見込)

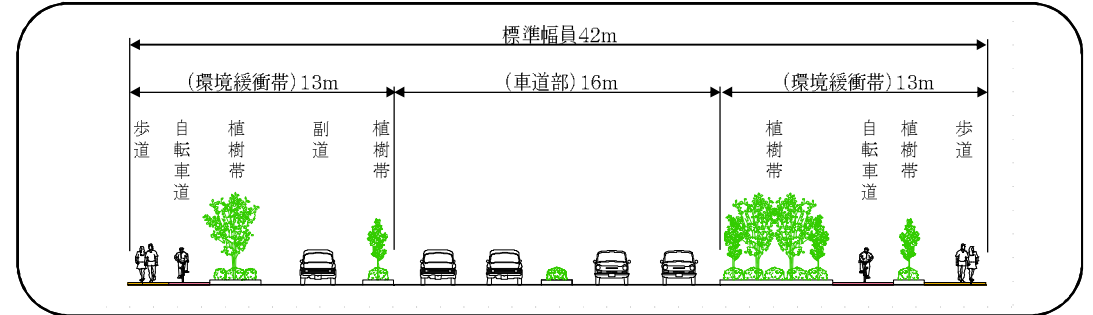
- 用地買収：約92%
 - 第1期整備区間 100%
 - 第2期整備区間 約88%【志木区間 約92%】
- 工事：
 - 第1期整備区間 約58%
【暫定2車線（一部4車線化）】
 - 第2期整備区間 約2%【モデル工事のみ】

5 今後の進め方（第2期整備区間【志木区間含】）

- ・国道463号立体交差橋の下部工の推進
- ・未買収地の用地買収の推進
- ・志木区間の道路詳細設計を確定した後、工事に着手

国道254号バイパス環境緩衝帯整備検討協議会（H20）

- 目的
環境緩衝帯の形態について、基本的な整備モデル案をまとめる。
- 標準横断面



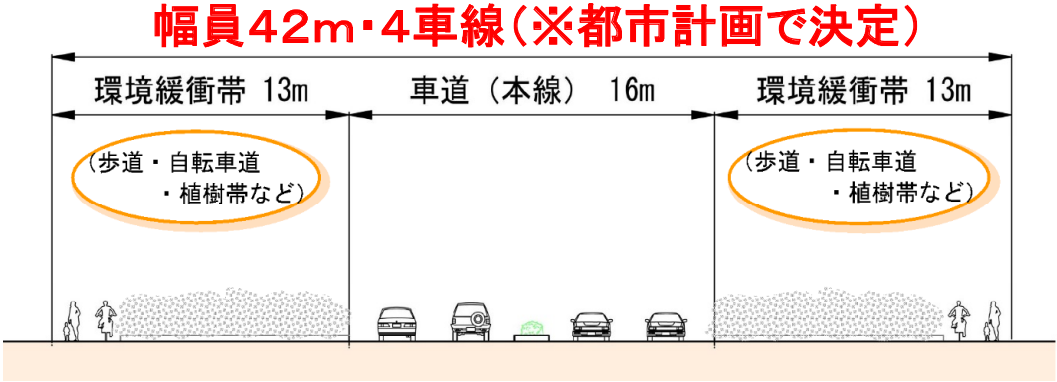
- モデル工事



国道254号バイパス道路詳細設計検討会（H28～）

- 目的
整備モデル案を基に、県が道路詳細設計を進めるにあたり、市民の意見を反映させる。
- スケジュール
平成29.3～12の間に、3回程度
- 検討結果の公表
ホームページ等で、随時、公表する。
- 地元説明会
市民を対象とした地元説明会を適宜、行う。

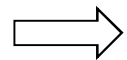
◆平面計画(延長、幅員、位置)は、都市計画で決定済み



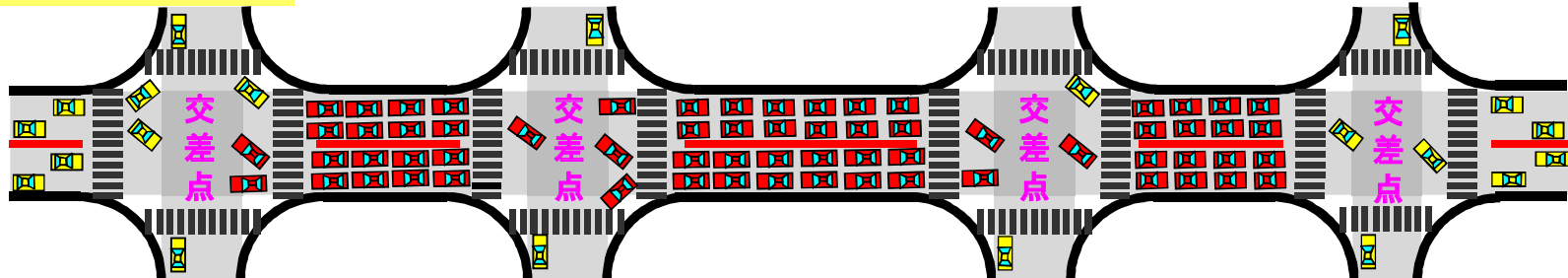
◆交差計画上の留意点①

交差点は、「沿道利用」の観点では、多く配置されるのが望ましいものの、「通行の安全性」や「交通の円滑化」の観点では、できるだけ集約(最小化)することが望まれます。

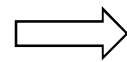
交差点数
多い



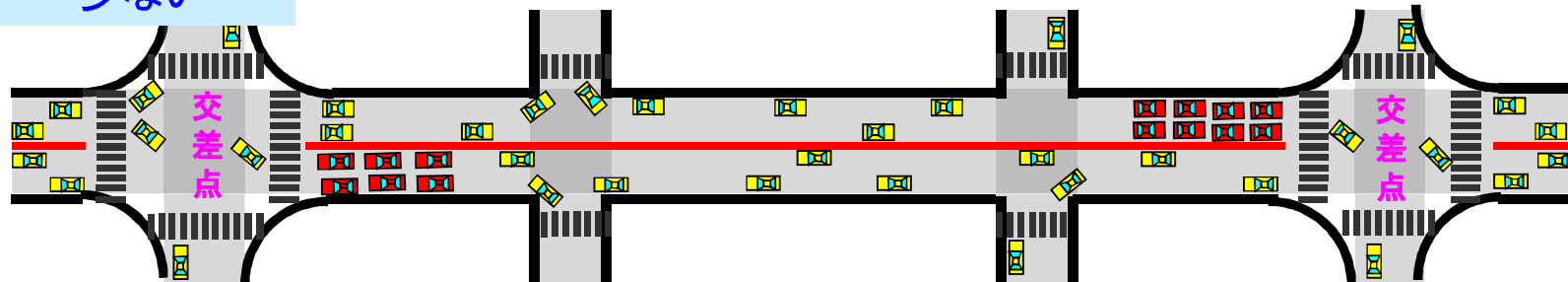
交差点間隔が短いため、渋滞が発生しやすい。
交差点は事故が発生しやすいため、事故の危険性が高まる。



交差点数
少ない

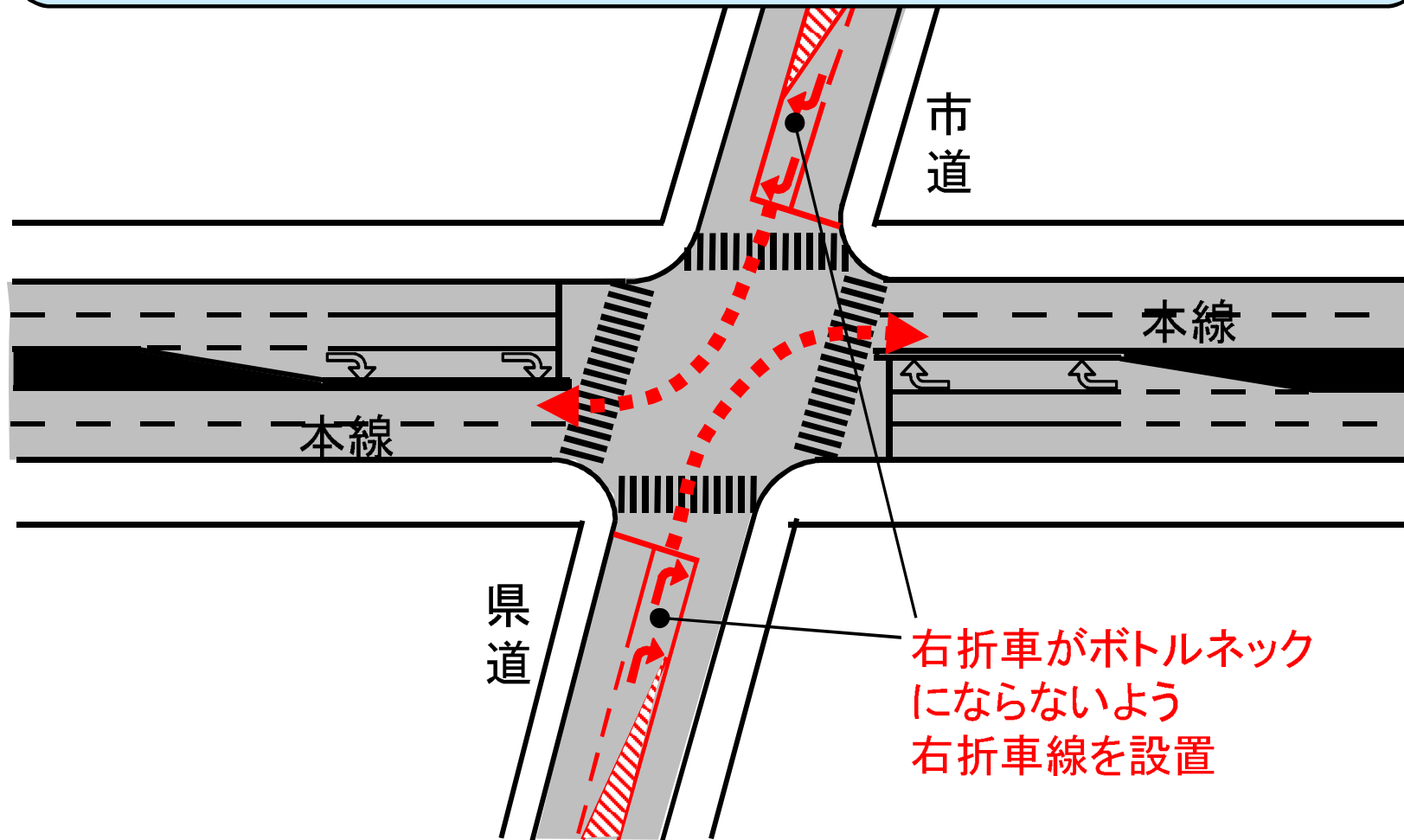


交差点間隔が長く、横断する箇所が限られるため、不便になる。



◆交差計画上の留意点②

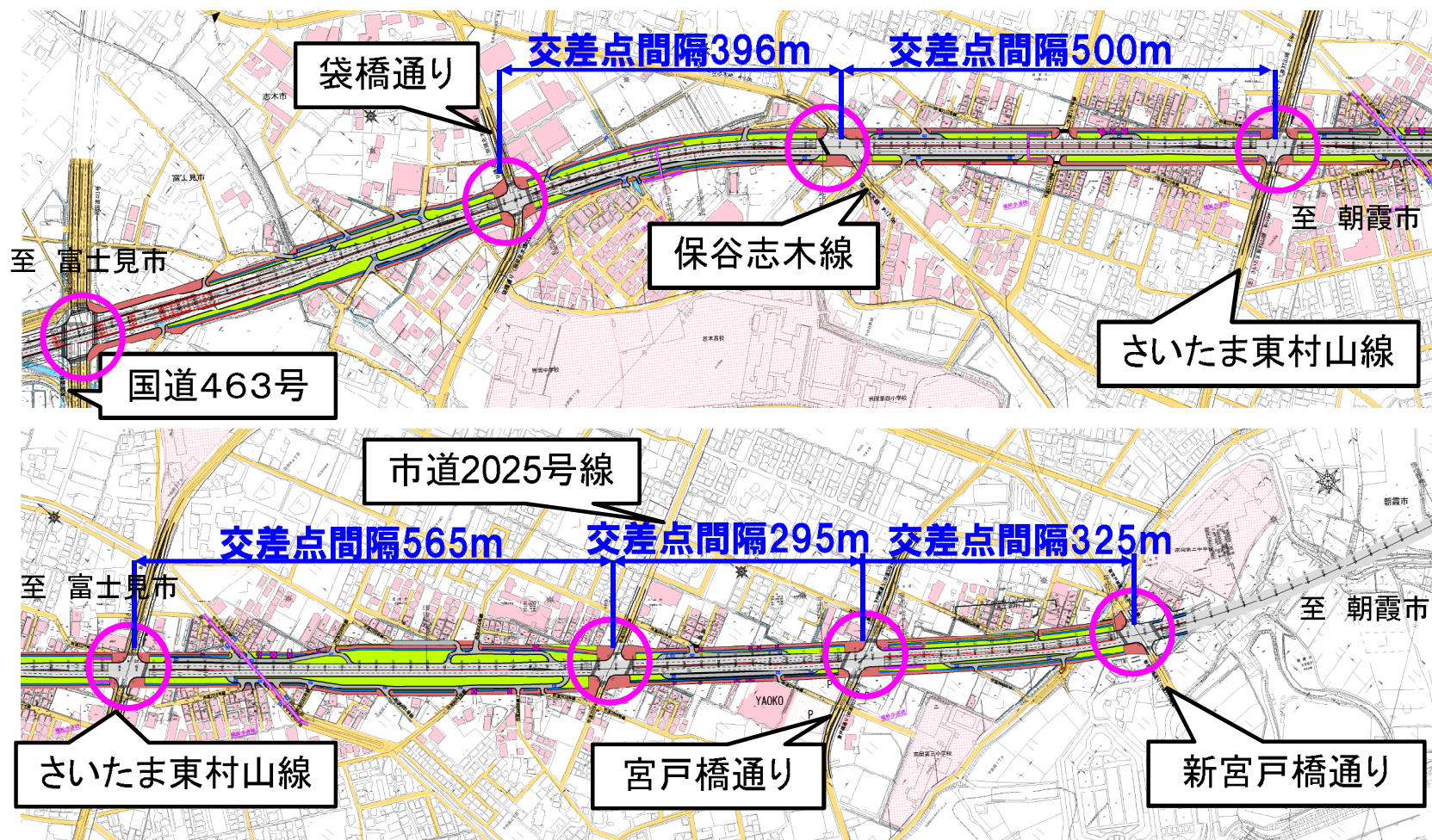
本線の新設に伴い、交差道路(既存の県道や市道)側の渋滞対策を併せて計画する必要があります。



◆交差点配置計画

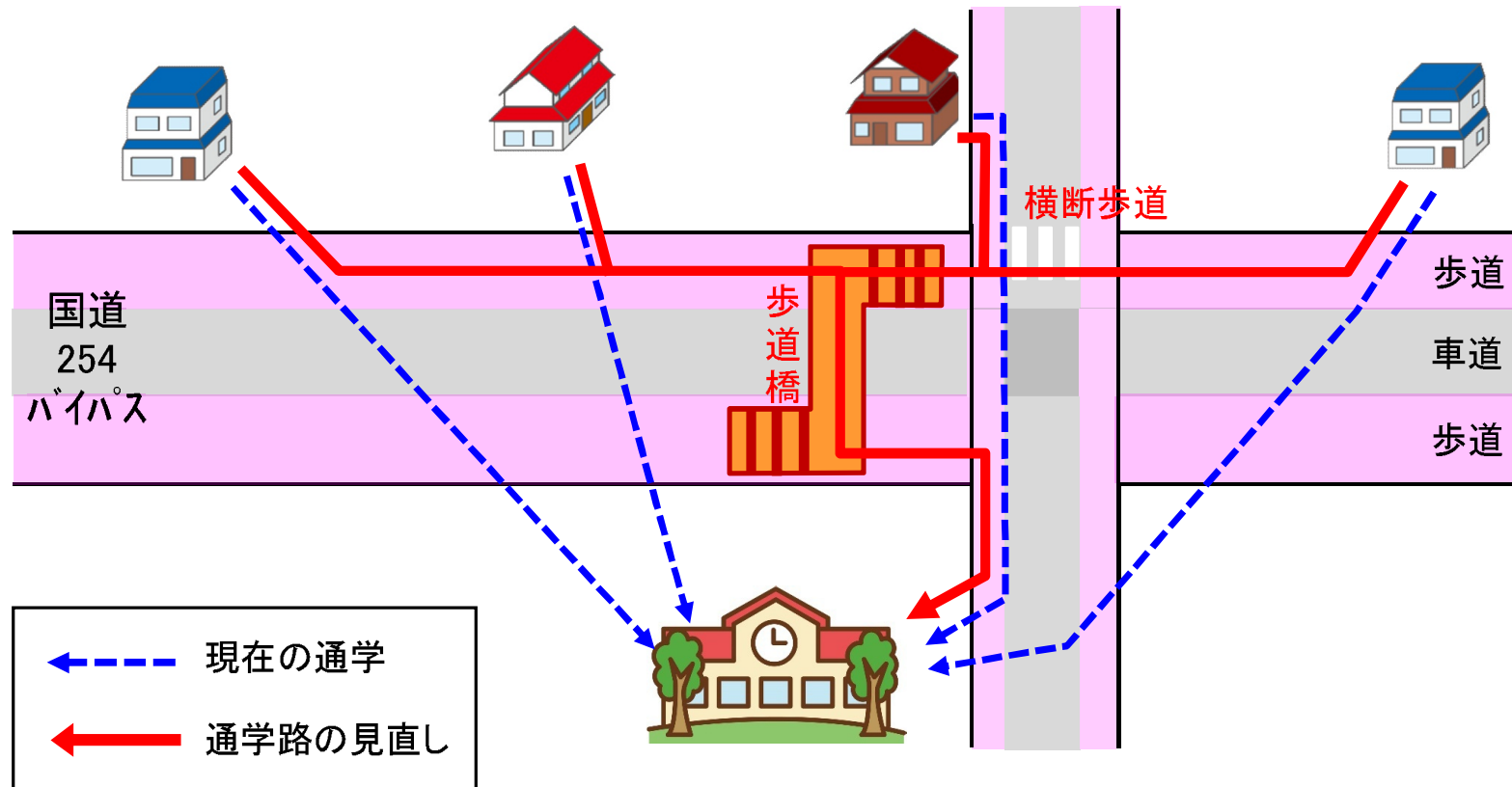
交差点箇所、及び交差点設置間隔は下図の通り。

当該工区の交差点数は6箇所。(信号機設置と交通規制については警察協議中)



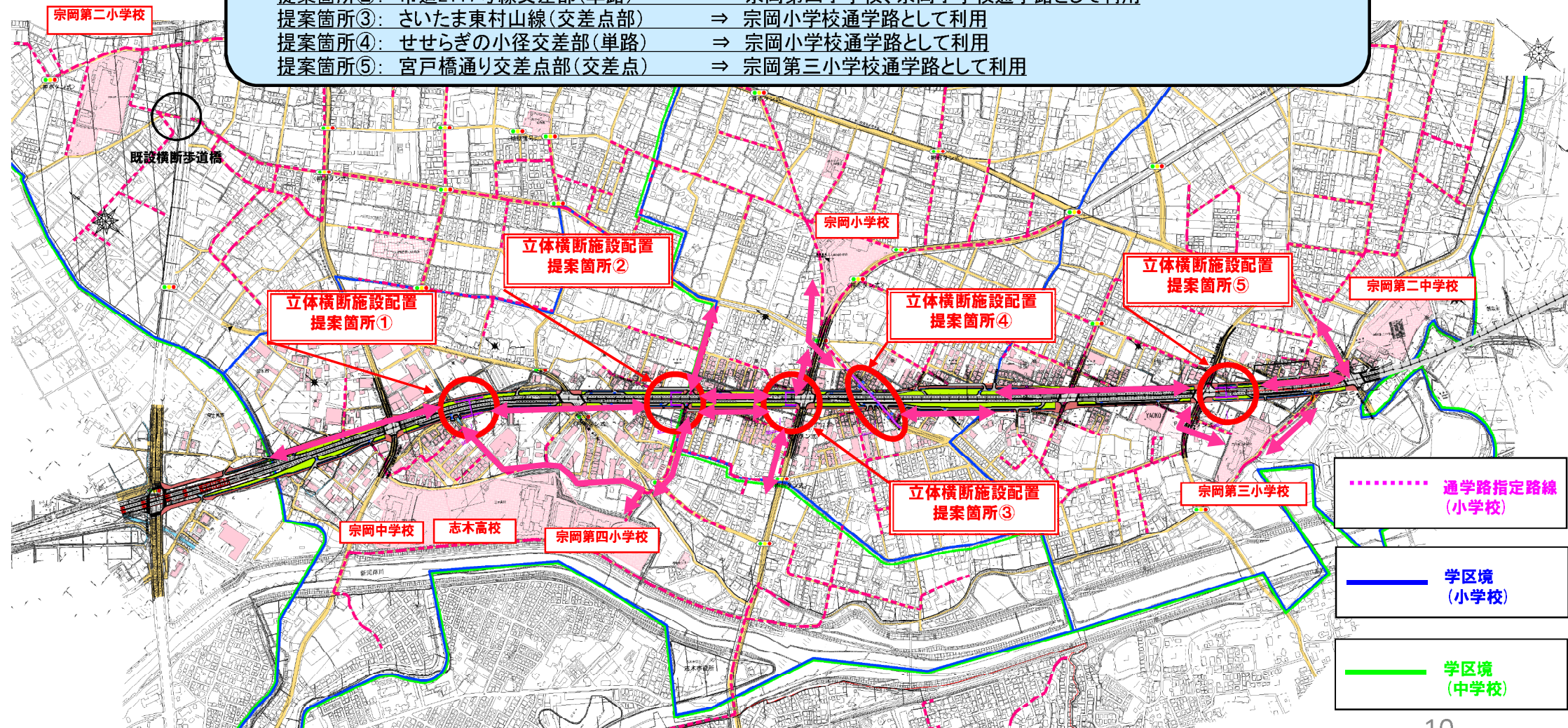
◆立体横断施設の配置計画上の留意点

立体横断施設の設置は、通学路や歩行者数等を総合的に勘案して検討します。併せて、通学路は、バイパスの歩道を活用した見直しが望まれます。



◆立体横断施設計画

- 提案箇所①: 市道(歩行者専用) 交差点(単路) → 宗岡第四小学校通学路として利用
- 提案箇所②: 市道2117号線交差点(単路) → 宗岡第四小学校、宗岡小学校通学路として利用
- 提案箇所③: さいたま東村山線(交差点部) → 宗岡小学校通学路として利用
- 提案箇所④: せせらぎの小径交差点(単路) → 宗岡小学校通学路として利用
- 提案箇所⑤: 宮戸橋通り交差点部(交差点) → 宗岡第三小学校通学路として利用



◆維持管理のしやすい高木

常緑高木	シラカシ	常緑高木	タブノキ	常緑高木	マテバシイ
 <p>(さいたま市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉は明るい緑色。 ・剪定によく耐えるが、寒い時期の剪定には注意。 	 <p>(千葉市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クスの木に似ている。 ・潮風に強く臨海部に適する。 ・痩せ地には不適。 			 <p>(千葉市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉が大きい。木姿が丸くまとまる。 ・臨海部に適する。 ・寒い時期の剪定には注意。 ・枝折れがある。 	
常緑高木	ヤマモモ	落葉高木	ハナミズキ	落葉高木	ケヤキ
 <p>(横浜市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄雌の割合、がんじゅ病に注意。 ・痩せ地に耐え、臨海部に適する。 		 <p>(東京都多摩市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の高温多湿に注意。枯れやすい。 		 <p>(東京都)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇状の木姿。枝が上で広がりがり緑陰効果大。 ・枝折れが多く注意が必要だが、広幅員歩道にあつては維持管理が容易。 	